

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
地域福祉と包括的支援体制 a		選択	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
石原 真里奈	講師控室	kyoumu	授業終了後質問を受付		
授業の目的・概要	<p>〈目的〉地域における人と人とのつながりの希薄化が問題化となっており、地域福祉の重要性は増している。当科目では、地域における生活課題や地域共生社会に向けた包括支援体制を理解することを目的とする。</p> <p>〈概要〉本講義では、知識学習だけではなく事例を通じた実践的学びを行う。そのため、受講生同士でディスカッションやグループワーク、プレゼンテーション等を繰り返し、理解を深める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	社会福祉士国家試験科目とは考え方が重複するため、関連付けて復習しておくことが望ましい。				
教科書	最新社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座 6 地域福祉と包括的支援体制/編：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	適宜プリントを配布する。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	地域福祉の理念並びに歴史の変遷について理解し、説明ができる。			HC(3)、(5)	
②	地域を取り巻く社会的状況や地域生活課題について理解し、説明ができる。			HC(1)、(2)、(5)	
③	地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制について理解し、説明ができる。			HC(1)、(2)、(3)	
④	自分と他人との価値観・考え方の違いを理解し、説明ができる。			HC(1)、(4)、(6)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (授業の進め方、学びの方法、評価等についての説明、について理解する) 地域福祉の全体像を理解する。	講義	シラバスを把握しておく。 教科書の内容を把握しておく。	2	
2	地域社会と地域生活課題について理解する①地域社会の概念と理論	講義	教科書を読み重要な内容について整理を行う。	4	
3	地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題について理解する②地域社会の変化	講 義 ・ ディスカッション	ディスカッションを通して得た学びを理解する。	4	
4	地域社会と地域生活課題について理解する③多様化・複雑化した地域生活課題の現状・ニーズ、社会的孤立	グループワーク	グループワークを振り返り、考えの整理を行う。	4	
5	地域共生社会の実現に向けた包括支援体制について理解する①地域包括ケアシステム	講義	教科書を読み重要な内容について整理を行う。	4	
6	地域共生社会の実現に向けた包括支援体制について理解する。②生活困窮者自立支援	講 義 ・ ディスカッション	ディスカッションを通して得た学びを整理する。	4	
7	地域共生社会の実現に向けた包括支援体制について理解する。③包括的支援体制とは	グループワーク	プレゼンテーションに向けた準備を行う。	4	
8	地域共生社会と包括支援体制について理解する	プレゼンテーション	プレゼンテーションの振り返り、成果と課題を整理する。	4	
9	地域福祉ガバナンスと多機関協働について理解する。①地域福祉ガバナンス	講 義 ・ ディスカッション	ディスカッションを通して得た学びを整理する。	4	
10	地域福祉ガバナンスと多機関協働について理解する。②多機関協働を促進する仕組み	講義	教科書を読み重要な内容について整理を行う。	4	
11	地域福祉ガバナンスと多機関協働について理解する③多職種連携	グループワーク	グループワークを振り返り、考えの整理を行う。	4	
12	地域福祉の基本的な考え方について理解する①地域福祉の概念と理論	講 義 ・ ディスカッション	ディスカッションを通して得た学びを整理する。	4	
13	地域福祉の基本的な考え方について理解する②地域福祉の歴史、動向	講 義 ・ ディスカッション	ディスカッションを通して得た学びを整理する。	4	
14	地域福祉の基本的な考え方について理解する③地域福祉の主体、福祉教育	講 義 ・ ディスカッション	ディスカッションを通して得た学びを整理する	4	
15	地域福祉の全体像について理解する。	グループワーク	グループワークの振り返り、考え方の整理を行う。	6	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		50	0	20	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	0	10
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	学期末には筆記試験（選択式）を実施して評価する。試験範囲は講義中に用いた教科書・配布プリントから中心に出題し、理解度を問う。				試験結果を Teams に掲示する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	プレゼンテーションを実施する。発表内容や聞き手を意識した発表ができてきているか評価する。				発表後に講評および解説を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	講義中に理解を深めるため受講者間のディスカッションやグループワークを実施する。主体的な受講姿勢やグループ間のコミュニケーション、問題発見能力等を評価する。				講義内で適宜フィードバックする。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし。						
教員の実務経験	社会福祉士取得後 13 年の実務経験を有する。						
実践的授業の内容	教科書に記載されている一般的事項を踏まえつつ、社会福祉士としての教員自身の実践実例を示し、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら学習する。						
そ の 他	<p>【履修についての条件】</p> <p>*社会福祉士国家試験受験を希望する者は必ず履修すること。</p> <p>【受講する際の注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本科目は登校型授業であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更があり得る。 ・授業中の私語やスマートフォン等の電子機器類の使用は原則禁止する。 ・受講態度に問題がある場合、注意しても守れない学生については退室をしてもらう。 						